

普及活動情勢報告（令和元年7月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

集落の担い手を目指して ～数家集落法人化説明会の開催～



集落営農法人のめざす姿を説明する普及指導員

6月26日、数家公民館で、集落営農の法人化説明会を開催し、農業者など住民7名が参加しました。

普及所は集落営農法人のめざす姿、町役場は法人化のメリット・デメリット、JA高知県四万十は支援策などを説明し、参加者と意見交換を行いました。

参加者からは、「集落内には後継者のいない農家が多いので、集落営農法人が農業を担っていけるようにしたい」「県外に参考にしたい法人があるので視察を計画したい」との意見が出されました。

今後も、普及所は関係機関と協力しながら、研修会や集落での話し合いを通じて、法人化を支援していきます。

集落営農法人の会計処理をレベルアップ！ ～集落営農法人会計研修会の開催～



決算書の見方などを説明する普及指導員

7月4日、JA高知県四万十営農総合センターで、集落営農法人を対象に会計研修会を開催し、3法人と関係機関5名が参加しました。

普及所は、法人組織の決算書の見方や、次年度更新後の処理などを指導し、現在の記帳状況について確認しました。

参加者からは「従事分量配当の記帳処理はどうしたらよいか」などの質問がありました。また、従事分量配当の金額の決め方などについて参加者同士での情報交換などもありました。

普及所は今後も、集落営農組織が自ら会計処理ができるように、JA、役場など関係機関と連携して支援していきます。

信頼される産地化にむけて ～JA高知県四万十枝豆研究会出荷検討会、現地検討会の開催～



枝豆ほ場で行われた現地検討会の様子

7月2日、JA高知県四万十支所で、枝豆の出荷検討会及び現地検討会が開催され、生産者8名が参加しました。

普及所からは、今後の栽培管理などについて説明し、開花期の病害虫防除の徹底を呼びかけました。

本年度は、集落営農法人が栽培を開始したことで一気に3ha増加し、生産者の意欲も高まっており、出荷規格や栽培管理について活発に意見交換されました。

普及所は、JA高知県と連携し、引き続きエダマメの安定生産を支援していきます。

適正な整枝・誘引方法の徹底！！ ～JA高知県幡多地区十和支所シシトウ現地検討会～



整枝・誘引方法を実演する普及指導員

6月26日～7月8日にかけて、JA高知県幡多地区十和支所のシシトウのほ場で、整枝・誘引技術をテーマとした現地検討会を9回開催し、生産者延べ64名が参加しました。

JAと普及所で、整枝・誘引の目的やポイントについて説明し、ほ場に植え付けられているシシトウの株を使って、整枝・誘引をどのように行えば良いのかを見てもらいました。

生産者からは、「節間の長い枝はどうする？」「どこで枝を切ったらいい？」など多くの質問があり、集まった生産者全員で活発な意見交換をすることができました。

普及所は、今後もJAと連携して、シシトウの安定生産に向けて取り組んでいきます。

農薬を上手に使いましょう ～農薬安全使用講習会の開催～



農薬の安全使用講習を行う普及指導員

6月22、十和地域振興局大会議室で、(株)十和おかみさん市の生産者部会に対して農薬安全使用講習会を開催し、25名が参加しました。

普及所は、農薬を使用する際の注意点や、病虫害防除のポイント、記帳の必要性について説明しました。

参加者からは、「ナスのヘタがガサガサになるのは何が原因？」「農薬をできるだけ使わないで防除する方法は？」などの質問が出されました。

普及所は今後、JA生産部会や直販所向けの生産者に対し、農薬の安全使用を推進していきます。